# 第 9回総会

* **概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 2012-07-24 ~ 2012-07-27 | |
| 開催地 | 中華人民共和国 > 寧夏回族自治区 | |
| 開催者 | 中華人民共和国 > 寧夏回族自治区 | |
| 参加 | ５カ国3７自治体 | |
| 中華人民共和国 | 黒龍江省、山東省、河南省、寧夏回族自治区、湖北省、湖南省、山西省(オ)、陝西省(オ)、天津市(オ)、青海省(非)、吉林省(非) |
| 日本国 | 山形県、新潟県、富山県、京都府、兵庫県、島根県 |
| 大韓民国 | 釜山広域市、大邱広域市、大田広域市、蔚山広域市、京畿道 、忠清北道、忠清南道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道 、済州特別自治道 |
| モンゴル国 | ヘンティ県、ボルガン県、ウブルハンガイ県、バヤンホンゴル県、フブスゴル県、バヤン・ウルギー県、オルホン県 |
| ロシア連邦 | ハバロフスク地方、ザバイカル地方 |

\*オ：オブザーバー、非：非会員

* **内容**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  | | --- | | **▷韓国全羅南道の2014年総会誘致申込**  **▷韓国慶尚北道事務局の再任及び長期設置申込** | |  | | **▷ 韓国世宗特別自治市のNEAR新規加入申込** | |  | | |  | | --- | | **▷ NEAR事務局のNEAR青年インターン交流プログラム(PioNEAR)導入提案**  **▷ NEAR事務局が提案したNEAR会費制導入提案** | | |  | |

* **寧夏宣言**

2012年7月24日から27日まで、中華人民共和国寧夏回族自治区銀川市において、北東アジア地域自治体連合（NEAR）第9回総会が開催された。

　中華人民共和国、日本国、大韓民国、モンゴル国、ロシア連邦から訪問した会員自治体及びオブザーバー、非会員自治体、並びに在中国朝鮮民主主義人民共和国大使館及び在中国大韓民国大使館が会議に出席した。

　各会員自治体の代表は、「協力の深化で創っていく共同繁栄」というテーマの下、第9回総会の全議事日程を終えた。総会での各テーマにかかる発表及び発言は、我々に調和と共存共栄の理念が地域協力と発展の促進に及ぼす重要性を認識させた。我々は、グローバリゼーションと地域統合化という時代の挑戦に応えるため、地域間における交流・協力を推進し、共同繁栄を促進することが、我々の背負った歴史的な重責であると認識した。

　これまで、北東アジア地域自治体連合は、各会員自治体の積極的な推進の下、経済、環境、文化、防災、科学技術、女性児童、教育など様々な分野において、広範な交流と協力を展開し、目覚しい多くの成果を挙げてきた。

現在、NEARは積極的な参画と相互間の支持を通じて、相互信頼と互恵、共存共栄、調和の北東アジアを共同で建設していくことを目指している。

　第9回総会の総括として、我々代表は「寧夏宣言」を発表し、我々の地域発展に対する共同ビジョンを示すことに全会一致で同意した。

そこで、我々は共同で次のとおり提議する。

　NEAR内部におけるより具体的な協力を強化する。その影響力と吸引力を強化することは、NEARをして地域の平和と繁栄を形成する過程の中で、より重要な役割を発揮させることとなる。

　自治体の積極的な参画を歓迎する。北東アジアの持続的な平和と発展、繁栄を推進するため、我々は会員自治体だけでなく、非会員自治体の積極的な参画を歓迎する。我々の目標は、より開かれた北東アジアの建設に努力することである。

　地域における優位性を活かした相互補完を堅持し、協力と共存共栄を提唱する。我々は、今後10年間、北東アジア地域自治体間において、経済協力モデル地区の建設を積極的に推進するとともに、グリーンエコノミー、省エネ、環境保護、観光、気候変動、砂漠化防止、海洋漁業及び労働就業などの分野における協力を強化し、地域の発展と持続的な繁栄を促進することで共通認識に至った。

　我々は、新しい歴史的な条件の下で、相互信頼と協調、協力が発展の促進と共存共栄の確保に及ぼす重要性についても、認識することとなった。

我々はここにNEARの全会員自治体が団結協力し、我々が達した共通認識と宣言の精神を誠実に履行することを重ねて表明する。

付録：「寧夏宣言文」行動計画

2012年7月25日

中国　寧夏　銀川

「寧夏宣言」行動計画

　NEAR第9回総会で達した共通認識と宣言の精神を誠実に履行するため、我々は以下のとおり行動計画を提出する。

１．韓国全羅南道の代表が提出したNEAR第10回総会の誘致にかかる提案に同意する。2014NEAR第10回総会は、韓国全羅南道が開催する。

２．韓国慶尚北道の代表が提出した事務局の再任と長期設置にかかる提案に同意する。新しい歴史的な条件の下、NEAR事務局を長期設置することは、多角的な国際組織間の協調と連絡に資するだけでなく、会員自治体間の協力にも資する。

３．韓国世宗特別自治市のNEAR加入にかかる提案に同意する。我々は、会員数の拡大及び会員間における協力の強化が、NEAR発展の方向であると認識する。

４．NEAR事務局の提出した青年インターン交流プログラムにかかる提案に同意する。我々は、協力と連携を強化するため、会員自治体が人的交流における協力と連携を強力に拡大すべきであり、青年幹部を会員自治体へ派遣し、学習と研修などの活動に従事させるべきであると認識する。また、本プログラムには、参加可能な自治体から開始するものとする。

５．総会は、NEAR事務局が提出したNEAR会費制の導入にかかる提案を否決する。